

**深谷市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に伴う
ワークショップ結果
報告書**

**平成 31 年 3 月
深谷市・深谷市社会福祉協議会**

目次

I 実施概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 対象者・日時・場所.....	1
3. 全2回のプログラム.....	1
4. 第1回実施内容.....	2
5. 第2回実施内容.....	3
6. 結果の概要.....	4
II 地区ごとの結果.....	6
1. 深谷地区.....	6
2. 藤沢地区.....	9
3. 幡羅地区.....	12
4. 明戸地区.....	15
5. 大寄地区.....	17
6. 八基地区.....	20
7. 豊里地区.....	22
8. 上柴地区.....	24
9. 南地区.....	27
10. 岡部地区.....	29
11. 川本地区.....	31
12. 花園地区.....	33

I 実施概要

1. 調査の目的

本ワークショップは、「深谷市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定に向けて、地域福祉活動の中心となる市民の視点から、地区のいいところや課題について様々な意見をいただき、地区の課題を解決するためのアイデアや今後の目指す方向性等、計画策定にあたっての基礎資料とするために実施しました。

また、ワークショップを通じてそれぞれの地区のいいところや課題を共有し、市民同士の交流や地域福祉に関する意識を醸成することを目的としました。

2. 対象者・日時・場所

対象者*	市内 12 行政地区の市民（各地区 3～5 名参加）
日時	第 1 回：平成 30 年 12 月 4 日（火）13 時 30 分～ 40 名参加 第 2 回：平成 31 年 1 月 21 日（月）13 時 30 分～ 41 名参加
場所	藤沢公民館

*対象者は各地区地域包括支援センターの生活支援コーディネーター*を通して募集しました。

*生活支援コーディネーターは、住民とともに地区の課題や社会資源の活用などについて考え、支え合いの体制づくりを推進しています。

3. 全 2 回のプログラム

第 1 回	12 月 4 日 （火）	地区の現状を洗い出そう！ いいところや問題点について、全体と地区ごとで話し合い、地区ごとの共通点や相違点を踏まえ、地区の現状を洗い出します。
第 2 回	1 月 21 日 （月）	今後の方向性を検討しよう！ 第 1 回の現状を踏まえ、地区の課題を話し合うとともに、そのアイデアや解決策を考えていただきます。

4. 第1回実施内容

テーマ 『地区のいいところ・問題点』

(1) 少人数グループで自由に話し合い

- ① 3～5人で集まり自由に話し合い！
- ② 時間がきたら移動！
- ③ 新たなメンバーで再度話し合い！
- ④ 再度②と③を繰り返します

*各地区から参加された方達の交流を深めるため、まずは自己紹介からスタートしました。和気あいあいとした雰囲気での他の地区の方とお話ししながら、それぞれの地区の現状や取り組みなどを知ることが出来ました。地区によって取り組み方が違うなど様々な発見もあり、お話が盛り上がりました。



(2) 地区ごとでいいところ・問題点の書き出し

- ① 印象に残ったいいところ・問題点をフセンに書きましょう！
- ② フセンを模造紙に貼り、分類します。

*今度は同じ地区の人達でグループになり自分達の地区について話し合いました。この地区にはどんな「いいところ」や「問題点」があるのか、フセンに書き出しながら“地域の交流”など、同じ分類に関する意見等をまとめる作業をしました。



(3) 各地区の意見の共有

各グループの模造紙を自由に歩いて見てまわる「ギャラリーウォーク」

*自分の地区の「いいところ」や「問題点」がわかったので、今度はほかの地区ではどのような意見が出ているのか、模造紙を見てまわりながら、気になるフセンがあれば直接話をしたりと活発な意見交換が行われました。



5. 第2回実施内容

(1) 前回の続き・補足

- ①前回の模造紙を振り返ってみて、言い忘れていたことや追加しておきたいことなどをあげていきましょう！

* 第2回からの新規参加者の意見や、前回の参加者からも新たな意見がフセンに書き足されました。



(2) 地区ごとに解決に向けて取り組むべき課題の整理

- ①挙げられた問題点から、今後解決に向けて取り組むべき課題を決めましょう！

* 「問題点」の中から、地区で解決したい「課題」を整理して話し合うことにしました。



(3) 地区ごとに課題に対するアイデアや解決策の書き出し

- ①課題に対するアイデアや解決策を、「自分や地域でできること」と「行政や社協に取り組んで欲しいこと」に分けてフセンに書きましょう！
- ②フセンを模造紙に貼り、分類します。

* 「課題」を解決するためにはどうしたらいいのか、地区の「いいところ」を役立てられないか？などの意見が出されました。



(4) 各地区の意見の共有

各グループの模造紙を自由に歩いて見てまわる「ギャラリーウォーク」
*各地区の「課題」について話し合った結果を、参加者全員で共有しました。

6. 結果の概要

①各地区の結果概要

各地区の「地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題」を項目づけると、以下の通りになります。

	深谷	藤沢	幡羅	明戸	大寄	八基	豊里	上柴	南	岡部	川本	花園
地域のつながり・交流の希薄化	●	●	●	●		●		●	●	●	●	
自治会のあり方・運営・存続	●	●	●		●	●		●	●	●		
交流の場における参加者の減少・固定化	●	●		●			●	●	●		●	
見守りが必要な人への関わり方・アウトリーチ	●	●	●			●		●	●	●		
生活環境(交通・買い物支援・ごみ出しなど)	●		●		●	●	●	●		●		
世代間交流の機会不足	●				●	●			●			●
交流の場づくり・環境整備		●			●			●		●		
地域活動の担い手不足・高齢化		●					●	●				
農業振興		●			●					●		
支え合いの意識醸成					●			●				●
福祉サービスの充実・提供体制					●			●				
課題解決の仕組みづくり												●
少子化対策					●							

■上位5項目の解決アイデア(概要)

「地域のつながり・交流の希薄化」の解決アイデア(9地区)

- 【自分・地域】日常的な声かけ・回覧等による呼びかけや祭り、健康教室等のイベントの実施
- 【行政・社協】空き教室の活用等、場の提供

「自治会のあり方・運営・存続」の解決アイデア(8地区)

- 【自分・地域】自治会に加入する魅力の発信、入会費・会長の任期の見直し
- 【行政・社協】役員候補となる人材の紹介・情報提供

「交流の場における参加者の減少・固定化」の解決アイデア(7地区)

- 【自分・地域】サロンの開催日程の見直し
- 【行政・社協】サロンへの補助金や老人クラブの設立支援

「見守りが必要な人への関わり方・アウトリーチ」の解決アイデア(7地区)

- 【自分・地域】見守りマップの更新や意見交換の実施
- 【行政・社協】地域で見守るにあたっての啓発、情報提供

「生活環境(交通・買い物支援・ごみ出しなど)」の解決アイデア(7地区)

- 【自分・地域】足の問題に対する乗り合いや送迎の実施、空き家に関する情報収集・提供
- 【行政・社協】「買い物難民」の掘り起こしや支援、空き家の活用推進など

②全地区の結果を踏まえた分析結果

「地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題」の項目として、最も多くの地区から挙げられたのは「地域のつながり・交流の希薄化」で、9地区から挙げられました。次いで「自治会のあり方・運営・存続」が8地区、「交流の場における参加者の減少・固定化」、「見守りが必要な人への関わり方・アウトリーチ」、「生活環境（交通・買い物支援・ごみ出しなど）」が7地区となっています。

「地域のつながり・交流の希薄化」の解決アイデアとして、日常的な声かけ・回覧等による呼びかけや祭り、健康教室等のイベントの実施が自分や地域でできることとして挙げられているほか、空き教室の活用等、場の提供が行政・社協に求められています。

「自治会のあり方・運営・存続」の解決アイデアとして、自治会に加入する魅力の発信、入会費・会長の任期の見直しが自分や地域でできることとして挙げられているほか、役員候補となる人材の紹介・情報提供が行政・社協に求められています。

「交流の場における参加者の減少・固定化」の解決アイデアとして、サロンの開催日程の見直しが自分や地域でできることとして挙げられているほか、サロンへの補助金や老人クラブの設立支援が行政・社協に求められています。

「見守りが必要な人への関わり方・アウトリーチ」の解決アイデアとして、見守りマップの更新や意見交換の実施が自分や地域でできることとして挙げられているほか、地域で見守るにあたっての啓発、情報提供が行政・社協に求められています。

「生活環境（交通・買い物支援・ごみ出しなど）」の解決アイデアとして、足の問題に対する乗り合いや送迎の実施、空き家に関する情報収集・提供が自分や地域でできることとして挙げられているほか、「買い物難民」の掘り起こしや支援、空き家の活用推進などが行政・社協に求められています。

また、若い世代が地域に参画しない、自治会に加入しないなど、子育て・働き盛り世代に対し、地域参画をどのように促していくかが多くの地区で課題として挙げられています。自治会、子供会、PTAなどの連携により、子ども世代、保護者世代と高齢者が交流できる機会を創出することで、地域に巻き込んでいくことも重要であるという認識が多くの地区で高くなっていることがうかがえます。

このような地域イベントのほか、子どもや高齢者に対する見守り体制についても、ボランティア、自治会、老人クラブ、子供会、民生委員等、地域における各組織・団体が連携して取り組むことが自分や地域でできることとして多くの地区から挙げられており、限られた地域の人材が相互に協力し合う取り組みの重要性がうかがえます。

II 地区ごとの結果

1. 深谷地区

深谷地区の結果概要

深谷地区では主に、地区ごとに解決に向けて取り組むべき課題として、「地域のつながり・交流の希薄化」「世代間交流の機会不足」「交流の場における参加者の減少・固定化」「自治会のあり方・運営・存続」「見守りが必要な人への関わり方・アウトリーチ」「生活環境（交通・買い物支援・ごみ出しなど）」を設定しました。

自分や地域でできる解決アイデアとしては、世代間交流や地域における見守りに向けて、自治会、長寿会、民生委員等による継続的な見守り、転入者等も含めた積極的な声かけが挙げられたほか、ごみ問題については自治会で分割表を配布するなど具体的な案が挙げられました。

行政・社協に取り組んでほしい解決アイデアとしては、自治会役員の担い手確保に向けた、候補となる人材の紹介、情報提供が挙げられました。

その他の問題点として人口減少・少子高齢化や地域のつながりの希薄化などによる自治会加入率の低さ等が挙げられており、地域における助け合いの意識の醸成や、自治会加入の促進に向けた継続的な取り組みが求められていることがうかがえます。



①地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題・②解決アイデア

解決に向けて取り組むべき課題	解決アイデア
<p>○一人暮らしの女性は話もしてくれない。 ○男性は比較的話に乗ってくれる。 ○ボケ老人に腹を立てないように注意しましょう。</p>	<p>【自分・地域】こちらから積極的に参加する。不安が原因なので、腹を立てないこと。</p>
<p>○近所で高齢者に対して、雨戸などを見て、開閉により声かけ。安否確認。</p>	<p>【自分・地域】民生委員、長寿会が行っているの、引き続きやっていく。</p>
<p>○自治会役員のなり手がいない。</p>	<p>【行政・社協】行政の方でこんな人が居るのではという声をかけていただけると良い。 【行政・社協】特に民生委員は行政の支援が必要です。市OB、教員等の情報→裏支援。</p>
<p>○公民館のスポーツ行事に転入した人も誘って出してもらっている。</p>	<p>【自分・地域】自治会で声かけを積極的に行っていく。</p>
<p>○ごみ出しの問題(ニュータウン等)</p>	<p>【自分・地域】自治会で分別表を配布する。</p>
<p>○祭典に関して子どもが育って高校以上の若者が子どもにおはやし等を教える様になっている。</p>	<p>【自分・地域】世代交流は長寿会でもやっている。</p>
<p>○皆で協力して手造りで山車の改修をやっている。(自治会と青年部)</p>	<p>【自分・地域】皆で協力体制をつくる。</p>
<p>○学童の見守り、一人暮らしの見守り。(自治会、長寿会)</p>	<p>【自分・地域】自治会、長寿会、民生委員等で今後も実施していく。</p>
<p>○サロンやふっかつ体操に声をかけ合い自分から高齢者を誘い出してくれる。</p>	<p>【自分・地域】自治会、長寿会等、人々の声かけで今後も実施していく。</p>

③その他の地区の問題点・いいところ

項目	意見
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的に高齢化が進み、空き家、町中のシャッター街等が増加している。 ○見守り活動。見守る人も高齢化。 ○見守り役を行っているが、役を終えると見守り対象者になる。 ○どの地区でも年長者が増加、二世帯で一緒に住む家庭が減少している。 ○ニュータウンで出来た地区は今高齢化。 ○老いて自治会を退会する人が増えている。 ○農村地区は地域のことが見えている。見守りはできているのでは！！ ○近所のことが見られる一面、うるさいと感じる方もいる。 ○農家が多い地区。家族の出入りは自然に把握出来る。車の出入はわかる。毎日お互いに見守りしている？
人口の減少	<ul style="list-style-type: none"> ○人口の減少。子どもが少なくなっている。 ○近所の方との交流が減り、昔のよさが薄くなって来ており、そのことが人と人とのつながりを希薄にしている。 ○学童が減少していることが皆様の意見で実感した。
自治会のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会未納、ある地区は 280 世帯の内、100 世帯が入ってない。広報等は配っている？ ○農村地区では自治会の神社、農水路等色々な役員が必要で、役がまわってきて大変。
孤立とメンバーの固定化	<ul style="list-style-type: none"> ○障害者の方との交流がなかなかとれない。（ひきこもり等含めて）どのような形で外へ出られるようにしてあげられるのか？ ○仲良しグループでの交流がありその中に入りづらい。出ていこうとしない。 ○街中の方が、サロン等に集まって来る人が多いのでは。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館公用車で青パトロールを実施している自治会があった。夕方1時間、各班より2～4名出る。

2. 藤沢地区

藤沢地区の結果概要

藤沢地区では主に、地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題として、「地域のつながり・交流の希薄化」「交流の場における参加者の減少・固定化」「交流の場づくり・環境整備」「自治会のあり方・運営・存続」「地域活動の担い手不足・高齢化」「見守りが必要な人への関わり方・アウトリーチ」「農業振興」を設定しました。

自分や地域でできる解決アイデアとしては、地域のつながりにおいては、日常的な友達づくり、互いの家でのお茶のみなど、気軽に、日常的に関わっていくことが挙げられています。また地域活動の担い手確保や子どもに対する防犯パトロールの継続のために、自治会が中心となって人材を確保したり、自治会と子供会とのコラボレーションなどがアイデアとして挙げられており、限られた地域の人々が相互に協力し合う取り組みの重要性がうかがえます。

また、サロン等の参加者の高齢化・減少については、行政・社協に取り組んでほしい解決アイデアとして補助金の増額、白寿会の設立協力など、自分たちや地域では取り組むことができない補助に関する取り組みが挙げられました。

その他の問題点として子どもの少なさ、高齢者が家から出てこないというひきこもりの問題が挙げられており、アウトリーチや世代間交流を通じた地域の活性化が求められていることがうかがえます。



①地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題

- 後継者がいない。
- 農家の後継者が少ない。
- 地元が大好きだけではだめ。外に目を多く向けて。
- 地区の防犯パトロールの人をもっと選んで、子どもの朝夕の安全を。
- 近所とのつながりがない。
- 自治会をやめる人、加入する人がいない。
- 会社をやめたとたん、いろいろな役を受けなくてはならなくなる。
- 自治会を通じて定期的な催し物をするようにして、コミュニケーションを図る。
- 白寿会がなくなった地区の白寿会の復活。
- サロン、通いの場。高齢化で人数減。新しく加入できる方法を考え中。

②解決アイデア

【自分・地域】

- 友達をいっぱい作る。
- 自治会、民生委員、白寿会の連絡を密にする。
- 地域防犯パトロール地域で組織化。子供会、自治会などのコラボ。
- 自治会長に防犯パトロールの人を増やしてもらう。
- 近所の家にお茶のみに行けばいいこと。
- 白寿会、自治会とサロンをコラボさせて補助金の増額を。

【行政・社協】

- 行政。休耕地を他産業へ。
- 子ども110番の家の見直し。
- 白寿会の設立に協力してもらう。
- 社協。サロンの補助金増額を希望。

③その他の地区の問題点・いいところ

項目	意見
少子化	<ul style="list-style-type: none">○小学生が少なくなった。○子どもの数が少ない。
自治会	<ul style="list-style-type: none">○自治会への入金が少ない。○自治会への加入が減っている。
世代間の交流	<ul style="list-style-type: none">○世代間の交流がない。○世代間の交流。高齢者の出席が少ない。
自然・人情	<ul style="list-style-type: none">○自然が豊か。人情有り。○藤沢地区は人が良く、やさしい。○農村なので地区に住んでいる人がすぐわかる。○みんながやさしい。○人の良い人が多い。

項目	意見
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ○年寄りが多く、家から出てこない。 ○農家が多くサロンなどに出にくい。
世話役	<ul style="list-style-type: none"> ○老人になっても畑をして忙しいので、役を受けない。
項目なし	<ul style="list-style-type: none"> ○村の祭で子育て。 ○高齢化。少子化。(学校、親、公民館など)まとめコミュニケーションがとれる。 ○歳だから・・・と言って自治会をぬける。 ○通学路に枝が出ている。 ○商業施設が万全であり住みやすい。 ○自治会に入っていないのにごみの出し方が非常に悪い。 ○空き家が増えて居る。 ○公園が少ない。 ○農地を貸している。

3. 幡羅地区

幡羅地区の結果概要

幡羅地区では主に、地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題として、「地域のつながり・交流の希薄化」「自治会のあり方・運営・存続」「見守りが必要な人への関わり方・アウトリーチ」「生活環境（交通・買い物支援・ごみ出しなど）」を設定しました。

自分や地域でできる解決アイデアとしては、地域のつながり・交流として、健康増進の取り組みなどを通じた介護予防等や祭り、レクリエーションを通じた交流が挙げられているほか、行事の実施に向けた各会の協力・連携なども挙げられています。

また、子どもや高齢者に対する見守りについては、地域ボランティア、民生委員、寿会との協働で行っていくなど、地域での取り組みのほか、行政・社協に取り組んでほしい解決アイデアとして、高齢者の見守りを地域で行うにあたっての説明会の実施などが求められています。

その他の問題点として近所付き合いの希薄化や自治会役員のなり手不足が挙げられており、支え合い・助け合いの意識醸成や、役員の負担感の軽減が求められていることがうかがえます。



①地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題・②解決アイデア

解決に向けて取り組むべき課題	解決アイデア【自分・地域】	解決アイデア【行政・社協】
<ul style="list-style-type: none"> ○家族での交流のある人は良い人がいる！！ ○体育祭、みこし祭り、サロンの交流！ ○カラオケで歌を！体操、忍にん体操。 ○介護施設に入る前に健康作り対応。 ○婦人会が行事で活躍している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本は自助。健康増進。グラウンドゴルフ。踊り等。レクレーション推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ○サロン。社会福祉協議会の助成は良い。
<ul style="list-style-type: none"> ○自治会館の活用！ ○行事を実施するには協力者の協力が大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各地域が集まって話し合いをする。婦人会、寿会、民生委員、文教、体育、その他。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○自治会未加入者へどう対応したらよいか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会未加入者へ説明会を！四月に集中的に実施する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の見守り。班単位で始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災(自宅)と一緒に高齢者の見守り。班全員で推進していく。民生委員や寿会と一緒に。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政の説明会をやってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの見守り(登下校) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ボランティアの協力を得る高齢者等。 ○あいさつ、一声かけあう、助けられ上手になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども安全パトロールの夏休みの役目はあまり意味がないので、もっと良い方法を考える。
<ul style="list-style-type: none"> ○ごみの問題。備品をどうするか。自治会費？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみの分別徹底を回覧で！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政での対応をもう少し強く。 ○行政からの指導を！！

③その他の地区の問題点・いいところ

項目	意見
自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会の未加入者どうするか？ ○アパートが多く自治会に入っていない。 ○自治会役員のなり手がいない。 ○団体組織の連携・協力・情報交換。 ○自治会の未加入者。役をやりたくない。 ○カーブミラー管理。 ○自治会の定例会に部の代表が参加できるとよい。
自治会行事	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもみこし熱中症対策で9月に実施する。 ○祭りの活性化はどうすればよいか？ ○体育祭やバレーボールなど参加者いかにつものるか？ ○サロンは毎月一回やっている。庚申様（仲間町）月一回。 ○体育祭の種目、高齢者が参加しやすい種目を。 ○子どもみこし暑さ対策、実施期間検討。
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の住宅、空き家対策。
近所付き合い	<ul style="list-style-type: none"> ○近所付き合いが薄くなっている。 ○班の中でのコミュニケーションに温度差あり。 ○昼間若い人がいなくなる。
項目なし	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の介護手続き。（相続） ○サロンなど男の高齢者は積極的に誘わないと参加しない。 ○生き生きサロン、マンネリ化。 ○イベントを通して地域の交流がある。

4. 明戸地区

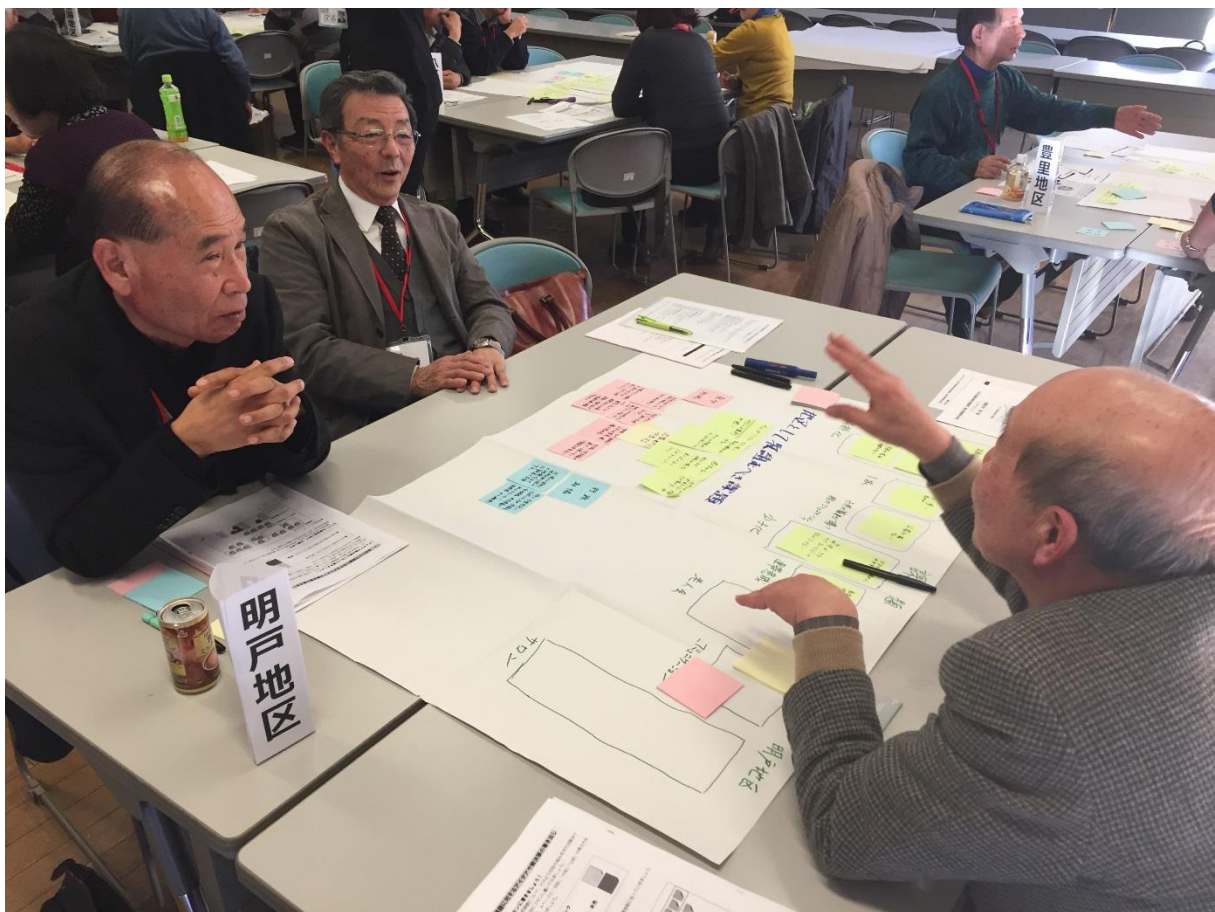
明戸地区の結果概要

明戸地区では主に、地区ごとに解決に向けて取り組むべき課題として、「地域のつながり・交流の希薄化」「交流の場における参加者の減少・固定化」を設定しました。

自分や地域でできる解決アイデアとしては、自治会の班ごとに見守り体制を構築し、班内の人々の交流・連携を深めるほか、見守りマップの更新や意見交換の実施など持続的な体制構築に向けた具体的な案が挙げられました。

行政・社協に取り組んでほしい解決アイデアとしては、見守りに関する取り組みの啓発の実施や、市営住宅に転居した人の情報提供等が挙げられました。

その他の問題点として、少子高齢化により行事が実施できない、地域のコミュニケーション不足などが挙げられ、少子化対策や支え合い・助け合いの意識醸成が求められていることがうかがえます。



①地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題

項目	内容
コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 近所の方との行き来があまりなく、用件だけの場が多い。 <input type="checkbox"/> 近隣同士仲良くする。
サロン	<input type="checkbox"/> サロン等に男性の参加が少ない。 <input type="checkbox"/> サロンができない。 <input type="checkbox"/> サロンの集まりが悪い。 <input type="checkbox"/> サロンの内容がマンネリ化している。
老人会	<input type="checkbox"/> 老人会がない。あるところも活動が低下。 <input type="checkbox"/> 老人会があっても人が決まり、入りにくい。

②解決アイデア

【自分・地域】

- 自治会の班ごとの見守り体制をつくる。(向う3軒両隣り)
- 近隣の方々に現在の身体の状態を話して、見守り等をしてもらう。
- 今回行われている“朝の学校さんぽ”。学校にて他地域の方と話をしたり、仲良くなれる。
- 見守りマップの更新を6ヶ月毎に実施し、作成する人々の意見交換の機を多く持つ。
- 各班ごとに班内の人々との交流・連携を深める。
- 自治会と民生委員との連携を密にする。(情報を共有する)

【行政・社協】

- 近隣との見守り体制の取り組みの啓発を市の広報等で支援する。
- 特に市営住宅へ引っ越した方の情報を自治会長、民生委員に出してもらいたい。(高齢者、ひとり親等)

③その他の地区の問題点・いいところ

項目	意見
高齢化	<input type="checkbox"/> 高齢者の増加。 <input type="checkbox"/> 高齢者が多い。 <input type="checkbox"/> 高齢者と次世代のコミュニケーションが成立しない。 <input type="checkbox"/> 次世代が入って来ない。 <input type="checkbox"/> 子どもが家を継がない。
少子化	<input type="checkbox"/> 少子化で子どもみこしが出来ない。 <input type="checkbox"/> 子どもが少ないのでおつき合いの話ができない。
空き家	<input type="checkbox"/> 空き家が多い。増加。
子どもの遊び場？ 親のコミュニケーション？	<input type="checkbox"/> 公園がない。
連帯意識	<input type="checkbox"/> 自治会加入率が低い。(集合住宅)

5. 大寄地区

大寄地区の結果概要

大寄地区では主に、地区ごとに解決に向けて取り組むべき課題として、「支え合いの意識醸成」「世代間交流の機会不足」「交流の場づくり・環境整備」「自治会のあり方・運営・存続」「農業振興」「生活環境（交通・買い物支援・ごみ出しなど）」「福祉サービスの充実・提供体制」「少子化対策」を設定しました。

自分や地域でできる解決アイデアとしては、自治会や農業の魅力的な内容を紹介し、協力者の確保につなげるほか、バスが利用できないため協力して車を集合できる環境をつくったり、いきいきサロンへの送迎を行うなど、地域で助け合いながら足の問題の解決に取り組むことが挙げられました。

行政・社協に取り組んでほしい解決アイデアとしては、子育て環境の充実や、若者の婚活を中心とした農業振興・少子化対策などが挙げられました。

その他の問題点として若者の地域活動参加促進や、一人暮らし高齢者の増加など、地域活動の担い手確保や、見守り体制の構築・強化が求められていることがうかがえます。



①地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題・②解決アイデア

項目	解決に向けて取り組むべき課題	解決アイデア
交通手段	○大寄地区に公共のバスが通っていない。	【自分・地域】自治会の中で協力して車を集合できる環境を作る。 【行政・社協】大寄地区版のくるりんバスを作る。
自治会	○自治会としての魅力が少ない。 ○自治会活動に協力しない人が多い。 ○自治会の行事が多く、時間を費やすことも多い。	【自分・地域】自治会として魅力ある内容のものにする。 【行政・社協】自治体における公民館事業の見直しをして取り込んだ自治会とする。
子ども	○子どもが少ない。 ○子どもと大人のコミュニケーションをとる場所場面が少ない。 ○子どもたちが遊べる場所が少ない。	【自分・地域】地域の子どもが遊べる場所を作る。たとえば公園など。 【行政・社協】保育園の増設。 【行政・社協】子どもを安心して産み、育てられる社会の礎を築く。
高齢者ひとり暮らし	○高齢者になる前の予測されるアドバイスが少ない。 ○高齢者を受け入れる受皿が少ない。また、活動し辛い。	【自分・地域】いきいきサロン会への、送迎を行う。 【自分・地域】趣味のサークルへ参加してもらう。(話し合い) 【行政・社協】高齢者のひとり暮らしの前に想定した対策を具現化して示す。(機会を作る)
若者	○若者との世代のギャップが大きい。 ○若者の集いが少ない。	【行政・社協】特に農家の方の婚活を重点にしていきたい。深谷ネギの生産が続くように。 【行政・社協】若者の方の1日バスの研修などをして、婚活にとりこんでもらいたい。 【行政・社協】深谷市で婚活を指導してもらいたい。
農業	○農業所得が苦勞のわりに少ない。 ○農業の後継者が少ない。	【自分・地域】農業が魅力あるものとして若者に紹介することをする。 【行政・社協】もうかる農業法人を作り(モデル化)、その中で問題を改善して広めて行く事を支援する。

③その他の地区の問題点・いいところ

項目	意見
交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ○くるりんバス。元のやり方に戻してもらいたい。 ○小学校へ通うのに徒歩が主体で不便がある。
自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会に入らない家がある。 ○自治会費を納めない。
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ○保育園が少ない。 ○保育園に兄弟と一緒に入れない。(同じところ) ○通学の見守り隊が少ない。
高齢者ひとり暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ○一人暮らしの見守りが必要である。 ○空き家が多い。 ○高齢が多い。単身の家も多い。
若者	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動への参加が少ない。(体育祭など)
農業	<ul style="list-style-type: none"> ○田畑の休耕地が多いので火災のおそれがある。
項目なし	<ul style="list-style-type: none"> ○北部地区(明戸、大寄、豊里、八基地区)大きな公共施設が少ない。

6. 八基地区

八基地区の結果概要

八基地区では主に、地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題として、「地域のつながり・交流の希薄化」「世代間交流の機会不足」「自治会のあり方・運営・存続」「見守りが必要な人への関わり方・アウトリーチ」「生活環境（交通・買い物支援・ごみ出しなど）」を設定しました。

自治会未加入世帯に対し、自分や地域でできる解決アイデアとして会則を見直すなどによる加入の促進が挙げられています。

行政・社協に取り組んでほしい解決アイデアとしては、交流の場としての小学校の空き教室の活用のほか、家から車に乗ることができる支援や、各家庭への行商など、買い物が不便なためいわゆる「買い物難民」に対する支援が求められています。

その他の問題点として一人暮らしの人の増加が多く挙げられており、特に自治会に関わらない、関われない一人暮らし高齢者に対する対応が求められていることがうかがえます。



①地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題・②解決アイデア

解決に向けて取り組むべき課題	解決アイデア
○地域の絆が薄れている。	【行政・社協】小学校の空き教室を高齢者のガンパルームを作るようにしてほしい。
○自治会に未加入の人への対応。 ○一人暮らしの人への対応。 ○若い世代との交流ができる場が欲しい。子育ての集まりなどができる場があるとよい。	【行政・社協】生活保護者は携帯電話と車は持つことを許可してほしい。条件つきでいいので。 【自分・地域】自治会会則の見直し「入会会費等」
○買い物が不便。	【行政・社協】市が契約した事できめ細かく対応して、家から乗れるようにしてほしい。 【行政・社協】各家庭に(高齢者一人暮らしなど)行商にきて欲しい。市と契約した店で。

③その他の地区の問題点・いいところ

項目	意見
高齢化の問題	○若い人が少ない。 ○高齢者が多い。 ○老人家族になっている。 ○高齢化で後継者がいない為、自治会に出て来ない。 ○高齢化で一人暮らしの人が増えた。自治会費を払えないので入らない。 ○老人会がなくサロンも参加者はいつも同じ参加者。 ○自治会未加入の高齢者の対応。 ○いきいきサロンが参加者がいつも同じ人。
地域のきずな	○行事に集まる人の顔がいつも同じ様。 ○仲間意識が強すぎて入ってきづらい。
地域	○民生・児童委員を知らない。(2自治会で1名のため)
一人暮らし	○一人暮らしの人が多いため、連絡が取りにくい。 ○一人住まいの人が多くなってきている。 ○自治会費、加入の条件。一人暮らし、普通家庭。
世代間の交流	○子どもも少ない。親子旅行。子供会もない。
その他	○個人情報と言って話をしてくれない。 ○外国人の対応。
いいところ	○近所の人顔が良くわかっている。 ○住人が同じなので周りの様子がわかる。 ○お祭りで地域の人々の交流が図れている。 ○八基地区。小・中学生があいさつができる。 ○八基地区。青パトの実施。

7. 豊里地区

豊里地区の結果概要

豊里地区では主に、地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題として、「交流の場における参加者の減少・固定化」「地域活動の担い手不足・高齢化」「生活環境（交通・買い物支援・ごみ出しなど）」を設定しました。

ボランティアの不足やサロンの参加者数の減少については、自分や地域でできる解決アイデアとして、個人的なつながりによる人材の確保のほか、休日開催などサロンに参加できない人を減らす取り組みなどが挙げられています。

買い物難民や交通機関の不便さについては、行政・社協に取り組んでほしい解決アイデアとして、移動販売の実施や移送サービス等、支援体制の確保のほか、必要とする人に支援が行き届くよう、買い物難民の掘り起しなどが求められています。

その他の問題点として世代による助け合いの意識の差や外に出られないひきこもり等への対応が求められていることがうかがえます。



①地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題・②解決アイデア

解決に向けて取り組むべき課題	解決アイデア
○ボランティアをしてくれる人が少ない。(働く地域生涯現役)	【自分・地域】個人的に知人に頼み込む。
○サロンも参加人数がだんだん少ない。(入院・入所で)	【自分・地域】企画の変更(内容等)開催日を休日にする。
○小売店の減少。買い物難民が多くなって来た。	【自分・地域】隣人との付き合いが大切である。隣人の助けが必要である。 【行政・社協】社協に移送をサービス。有償家事援助サービスの提供を頼む。社協は難民の掘り起こしを。 【行政・社協】ローソンの移動販売みたいのを増やす。
○公共交通機関が利用しづらい。	【自分・地域】地域で停留所の変更。 【行政・社協】くるりんバスの運行回数を増やす。

③その他の地区の問題点・いいところ

項目	意見
生活	○入院など内々にしたい時も出来ない。
いい箇所	○地域のお祭り(地蔵様祭)はにぎやかに行っています。カラオケ、ビンゴ、手遊び他。 ○昔から生活している人が多いので情報が判りやすい。 ○自然が豊か。 ○小学校の「あいさつ運動」に参加している。
項目なし	○世代間に隔たりがある。 ○出られる人(参加)行きたくても出られなくなっている人。

8. 上柴地区

上柴地区の結果概要

上柴地区では主に、地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題として、「支え合いの意識醸成」「地域のつながり・交流の希薄化」「交流の場における参加者の減少・固定化」「交流の場づくり・環境整備」「自治会のあり方・運営・存続」「地域活動の担い手不足・高齢化」「見守りが必要な人への関わり方・アウトリーチ」「生活環境（交通・買い物支援・ごみ出しなど）」「福祉サービスの充実・提供体制」を設定しました。

自分や地域でできる解決アイデアとして、自治会活動の参加者の固定化の問題や、若い世代の参加・協力を促すため、子供会、老人会、婦人会等の協力による様々なイベントの実施が挙げられています。

行政・社協に取り組んでほしい解決アイデアとして、高齢者など見守りが必要な人を地域で支えるための情報提供や、問題を先送りにせず自治会運営を行うための自治会の規約改訂などが求められています。

その他の問題点として自治会未加入世帯の増加等による地域の交流機会の減少や、ごみの出し方を知らないなどが挙げられており、自治会への加入促進や地域のルールの普及が求められていることがうかがえます。



①地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題

- 社協に申し込む。
- 買い物行けない人。サロンの時にローソンが車に 400 種類積んでくる。
- 自治会に無関心な人がいる。
- 防犯パトロール地域に差がある。やっていない地域は実施して欲しい。
- 防犯パトロールの高齢化。
- 自治会長の任期、一年は短い。(問題解決の先送り)
- 自治会活動は決まった人しか参加しない。
- 自治会の見守りが必要な人の名簿。一人暮らし等。
- 個人情報に重きがおかれている。
- 自治会活動に若い力がほしい。
- 地域によっては人の集まる場所がない。(公園など)
- 交流。
- ごみ出しルールを守らない。
- 集積所に出す戸数が多く、把握できない。
- 公園等が多くあるがもう少し整備をしてほしい。
- 学童・保育・教育。
- 個人情報保護法の壁がネックとなっている。

②解決アイデア

【自分・地域】

- 地域でイベントを行う。子ども、老人、婦人会、父母、納涼祭、芋煮。
- もちつき等、多世代の交流を行う集まりを増やす。
- 防犯パトロールに参加する人を増やす。増やすには？ 回覧板を回す。
- 集会などの機会をとらえて何回もPRする。
- 地域のサロンを開催。その時に買い物ができる仕組み。ローソン移動販売等。
- 自治会加入を呼びかける。(ビラ等配る)
- ごみ出し、自治会の組織で地域の皆さんへPRする。

【行政・社協】

- 市役所からの高齢者情報が無く、地域高齢者の把握が出来ない。
- 介護の専門の人が地域に個人の情報を伝えてほしい。一緒に支えたい。
- 自治会の規約を改訂し、会長の任期を複数年にする。
- 「子ども 110 番の家」の見直しを！

③その他の地区の問題点・いいところ

項目	意見
病院関係	<ul style="list-style-type: none"> ○よいところ。大型病院、医院がたくさんある。 ○ニュータウン病院あり。大型店あり。 ○総合病院、個人病院が多い。
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ○良いところ。コンビニが多い。飲食店多い。 ○買い物が便利です。 ○大型施設があり便利。商店買物等。 ○良いところ。大型スーパーがあり便利。
自治会活動	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会の行事。体育祭、球技大会、子どもまつり、マラソン等ある。 ○子ども達の登下校は見守り等しっかり出来ていると思う。 ○見守り活動や声かけを実施している地域が多い。 ○西5、6丁目はお茶を通じ繋がりがあがる。 ○お祭は地域の活性化。 ○地域の行事などの参加が多い。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校が近く便利。 ○公園が多い。
地域の問題点	<ul style="list-style-type: none"> ○アパートの人は自治会加入しない。加入呼びかけを！ ○問題点。お祭りに参加する人少ない。子どもが集まらない。 ○横のつながり少ない。 ○アパート住宅に若夫婦が越してきてても自治会に入らない。 ○アパートなどが多く自治会への入会を行わない人がいるので把握が大変。 ○ごみ出しの問題。 ○ごみ問題。出し方守らない。 ○アパートが多いためごみ出しマナーが出来ていない。
上柴ニュータウンとして40年	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化が進んでいる。 ○ニュータウンだったので一斉に高齢化が進んでいる。 ○空き家が増えつつある。
生活の問題点	<ul style="list-style-type: none"> ○交通手段あまりない。バスが廃止。日赤からかごはらヨーカドーのバス利用。 ○交通に不便を感じる。路線バスがない。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○住人が新しい。出入りが多い。 ○多世代の交流があるか？ ○今日のような集まりに子育て世代や色々な世代を集めた方がよい。

9. 南地区

南地区の結果概要

南地区では主に、地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題として、「地域のつながり・交流の希薄化」「世代間交流の機会不足」「交流の場における参加者の減少・固定化」「自治会の在り方・運営・存続」「見守りが必要な人へのかかわり方・アウトリーチ」を設定しました。

自分や地域でできる解決アイデアとして、自治会長、老人クラブ、民生委員、諸団体代表者の四者会談を定期的に行うことが挙げられており、地域課題を自分たちで解決するための仕組みづくりを必要としていることがうかがえます。

行政・社協に取り組んでほしい解決アイデアとして、難航する課題についての相談を受け、解決に導けるような教育・指導、研修会への参加などが求められています。



①地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題

項目	意見
ふれあいサロンの活性化	<input type="radio"/> いきいきサロン、男性の参加が少ない。 <input type="radio"/> ふれあいサロンへ来る人が固定化している。
自治会への加入促進	<input type="radio"/> 自治会員の加入率が少ない。 <input type="radio"/> 自治会未加入者。ごみ出しルールが守られない。 <input type="radio"/> 自治会未加入者への情報伝達方法。 <input type="radio"/> 自治会に入るメリットの資料不足。
地域へのつながり促進	<input type="radio"/> 隣近所のつながり希薄。 <input type="radio"/> 困っている人がどこに居るか、どんな課題があるか不明。 <input type="radio"/> 高齢者見守り必要性の周知(理解)が必要。 <input type="radio"/> 神輿の担ぎ手が集まらない。少子化。 <input type="radio"/> 子ども達があいさつできない。
若い人の参加	<input type="radio"/> 大学生など若い人の参画を望みたい。(具体策は?) <input type="radio"/> 子供会役員、中学 PTA 役員から支部長を選ぶ際のくじ引きは工夫すべき!!

②解決アイデア

課題解決・方向づけするには、四者会談を定期的に行う。

- 自治会長、老人会長、民生委員、諸団体代表者
- 難航する課題は“専門家”に相談する→行政・社協

【自分・地域】

- 会長が都合の悪い場合は“代行者”が出席する。(認識を深める)
- 次の世代を育成させるスムーズな引き継ぎ。

【行政・社協】

- 指導を受ける。教育を受ける。研修会に参加する。

③その他の地区の問題点・いいところ

項目	意見
いい点	<input type="radio"/> 各自治会のイベントが多い。 <input type="radio"/> しがらみの無い地域。新しいことができる。

10. 岡部地区

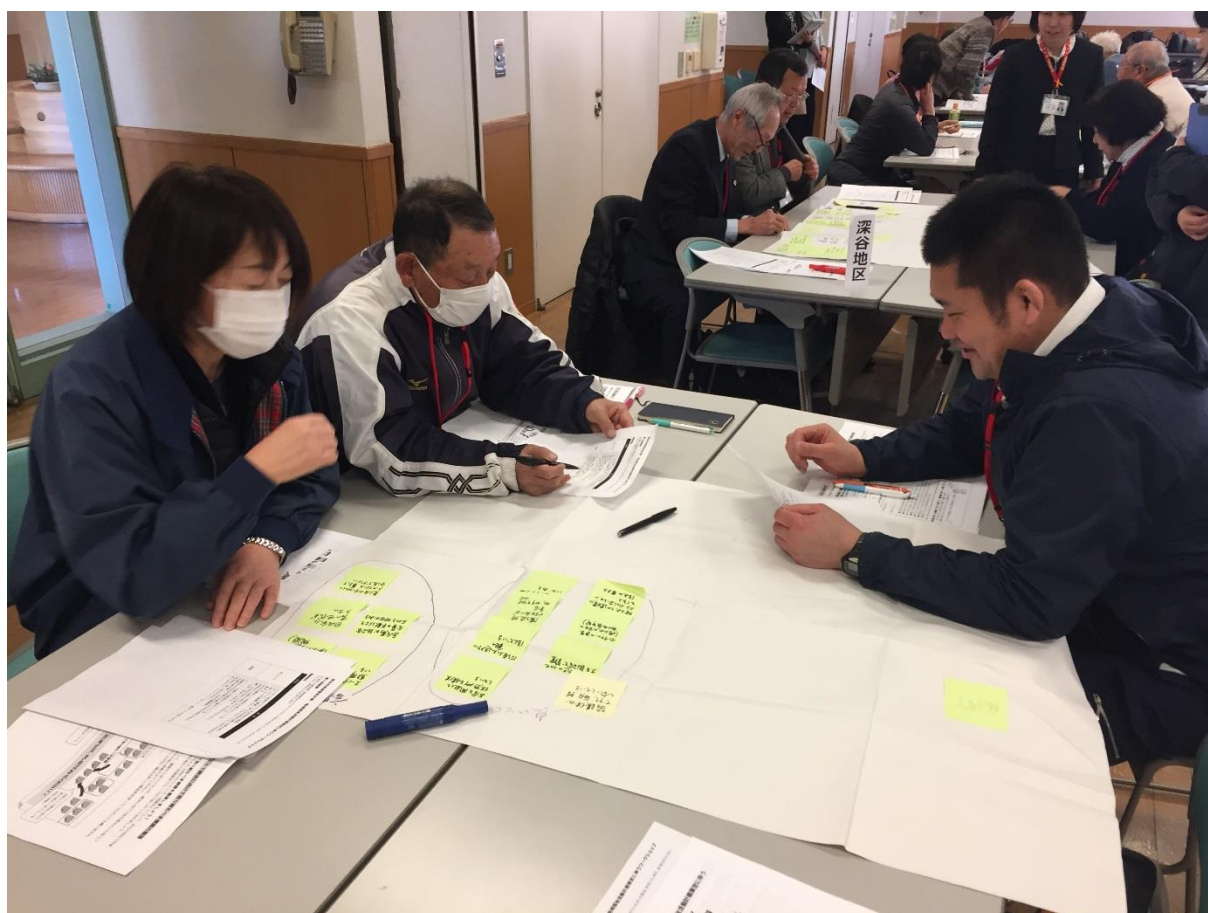
岡部地区の結果概要

岡部地区では主に、地区ごとに解決に向けて取り組むべき課題として、「地域のつながり・交流の希薄化」「交流の場づくり・環境整備」「自治会のあり方・運営・存続」「見守りが必要な人への関わり方・アウトリーチ」「農業振興」「生活環境（交通・買い物支援・ごみ出しなど）」を設定しました。

自分や地域でできる解決アイデアとしては、世代間交流や交流の場・機会の確保に向けて、助け合いの考えに共感する人を増やす取り組みや、世代間交流となるイベントの実施などが挙げられています。

また、空き家の問題については、自分たちや地域でできることとして情報収集・提供が挙げられているほか、行政・社協に取り組んでほしい解決アイデアとして、活用事例の提供、推進サポートが挙げられています。

その他の問題点として自治会会員の高齢化や、農業の後継者不足などが挙げられており、若い世代が地域、農業に参画するための取り組みが求められていることがうかがえます。



①地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題

- 自治会に若い世代が少ない。
- 老人クラブやサークルに入っていないと、集まって交流できない。
- 共働き世帯(核家族)が増えている。
- 人が集まる場所。(施設)
- 高齢者は、集まる場所があっても出てこられない。
- 土地がある。
- 荒地が増える。(休耕地)
- 自治会館の利用。
- 空き家の増加。
- 交通の便が悪い。(公共交通機関)

②解決アイデア

【自分・地域】

- 共感してくれる人を増やす。(助け合いの考え)
- 空き家情報の收拾、提供。
- 高齢者と若い世代(子ども)一緒にいける場所を作る。(例)子ども食堂、食をメインにしたイベント。
- 隣近所の顔を知る。

【行政・社協】

- 空き家の活用例を紹介、推進サポート。

③その他の地区の問題点・いいところ

項目	意見
いいところ	<ul style="list-style-type: none">○コスモス街道のコスモスを自治体で管理。○サンタクロース事業(埼工大の学生と商工会青年部)○埼工大との連携により、イルミネーションを作る住民が集まる。○お店を解放して休憩所を提どもしている。○同居または親の近所に住んでいる。○隣り近所付き合いがある。ex.おすそ分けなど。○ご近所づきあいがある。○協議体できて、毎月話し合いしている。
課題	<ul style="list-style-type: none">○スーパーや銀行が駅周辺に集中している。○高齢者が自治会会員の半数以上を占める地区がある。○農家の後継者不足。

11. 川本地区

川本地区の結果概要

川本地区では主に、地区ごとに解決に向けて取り組むべき課題として、「地域のつながり・交流の希薄化」「交流の場における参加者の減少・固定化」を設定しました。

一人でも多くの人に参加できるように、自分や地域でできる解決アイデアとして、口コミ、チラシの作成や回覧による呼びかけが挙げられています。

行政・社協に取り組んでほしい解決アイデアとしては、それらの印刷代について、公共利用のものとして、無償で利用できるようにすることが望まれています。

その他の問題点として空き家、荒れ地対策のほか、子育て・働き盛り世代の地域参画促進や、自治会、老人会、民生委員児童委員の連携強化が挙げられており、子育て・働き盛り世代との協力を含めた各組織の横断的な連携が求められていることがうかがえます。



①地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題

- 長在家東。カラオケ、体操、輪投げの参加者を増やすよう心がける。
- 参加者が固定してしまうのですべての人達が参加してもらうには！？

②解決アイデア

【自分・地域】

- 口こみで連絡し一人でも多くの人に参加をするように、願います。
- 地域でやっているサークルのお知らせ参加を呼びかける。
- 回覧で呼びかける。
- チラシ作り。

【行政・社協】

- 印刷代公共に使うのは無料にしてほしい。

③その他の地区の問題点・いいところ

項目	意見
地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉活動について話し合う時は 30～40 代の若い人も参加して欲しい！！ ○地域の自治会、老人クラブ、民生児童委員の連携強化必要。 ○高齢化、人口減少、空き家など近々来る問題について行政は具体案を。
空き家・荒れた農地	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家対策が充実していない。 ○荒れた農地、草取り（刈り）が大変。 ○ごみの分別が出来ない方がいます。 ○通りぬける車からポイする人がいる。 ○住宅（空き家）の木が通学路にのびている。切っても良いが、ごみなどは持って帰ってほしい。かかった費用は出せない。
地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ○将来車に乗れなくなり、買い物に苦勞すると思う。 ○地域交流を活発にしたい。深谷ふっかつ体操。 ○近所付き合いや絆が薄れて来ている原因は何か掘り下げて考える必要あり。 ○地域でやる事になっている水路の草取りの場所、姫岩ざれ草を植えて美化につとめている。 ○畠山地区老人クラブで毎月 20 日ごみ払いしている。 ○「ふっかつ体操」から進展して年 2 回いきいきサロンを行います。
他地域	<ul style="list-style-type: none"> ○子供会の活動で交流がある。 ○地域全体でクリスマス会を呼びかけた。 ○自治会で（大変だった）自主防災会を作り、班単位で見守り助けあう。困り事、災害等。 ○明戸地区。運動会を中学校と一緒にいき、世代間の交流あり。 ○藤沢グランドゴルフで交流あり。 ○花園サロンが充実している。

12. 花園地区

花園地区の結果概要

花園地区では主に、地区ごとに解決に向けて取り組むべき課題として、「支え合いの意識醸成」「課題解決の仕組みづくり」「世代間交流の機会不足」を設定しました。

世代間交流に向けて、学校行事への地域住民の参加や、子どもとその親と高齢者が合同で参加できるイベントの実施などが挙げられているほか、行事を行う中で協力者を集め、活動団体につなげていくことが挙げられています。

また、地域で活動する姿を見せることや、地域活動の考え方を伝えるなど、協力者の増加につなげるための働きかけを行うことも挙げられています。

行政・社協に取り組んでほしい解決アイデアとしては、空き家や空き地の整備による誰でも使うことができる場の提供のほか、金銭的な支援だけではなく、地域への歩み寄り、地域住民との話し合いの場が求められています。

その他の問題点としてサロンの参加者の固定化、自治会未加入世帯の増加、役員の不足等、地域のつながりに関する問題が挙げられており、自治会への加入促進や、支え合い・助け合いの意識醸成が求められていることがうかがえます。



①地区ごとで解決に向けて取り組むべき課題

- 地区の中で核となる人を中心に話がまとまるとよい。
- 世代間の話し合い、話しやすい雰囲気を作る。お互いの歩み寄り。
- 子どもが集まると人が集まる。

②解決アイデア

【自分・地域】

- 介護予防から高齢者を念頭に歌う会、脳トレなどの集いを開催。
- 行事する中で協力者を集め、活動団体につなげる。また地域の活動内容、考え方の変化を導く。
- 地域で気になることが、目につくと自分で活動する。(問題については責任者の了解を得る。)
- 活動する姿を見せて理解を深める。
- 子どもはとても良い意見を持っています。
- 学校行事に地域の人たちも参加する。
- 子どもが集まると人が集まる。
- 毎朝時間になると子どもたちに声かけをしてくれる。
- 自治会長との信頼関係があまり良くない。
- 近所の変化に気づいてくれる。
- 寺子屋的な集まり(長い休みの時など)があると良い。
- 高齢者による自分の人生発表の集まり。※自分以外の人生を見聞きすることは自分の再発見になると思う。
- 子ども会と高齢者の合同イベント。例:クリスマス会、お花見会、七夕祭り etc.※子どもとその親が参加。高齢者との交流。
- 地域の行事には子どもがより多く参加できるように大人が支えてあげたい。(子どもの気持ちになって…)

【行政・社協】

- 10年前と現在では行政の取り組み方に大きな変化を感じる。良い方向に変化。
- 交流の場として空き家、空き地等、行政で整備し誰でも使える場としてもらう。
- ボランティアを支えてくれる行政の人がほしい。
- 学校から地域に発信してもらいたい。(広報だけでなく)
- 地域に行政が近づき、歩み寄る姿勢があれば良い。※補助金、助成金を出すだけでなく、話し合いができれば…。

③その他の地区の問題点・いいところ

項目	意見
サロン	<ul style="list-style-type: none"> ○サロンやお祭りなど出る人は決まっている。 ○いきいきサロン等の参加者が固定化されてきている。広がりが無い。
きずな Part1	<ul style="list-style-type: none"> ○アパート住まいで自治会に入らない。 ○役を受けた時だけ顔を出す。 ○地元出身者と新規加入者との間で考え方に大きく差がある。 ○地域のつながりがなくなっている。あいさつが出来なくなっている。 ○長い間同じ世帯の地域で面倒を起こしたくない。会話が少なくなった。 ○近所同士に隙間ができた。 ○若い人、新しく引っ越してきた人は意見が言い辛い。 ○昔から住んでいる人と引っ越してきた人達の交流が少ない。 ○近所の変化に気づいてくれる。 ○毎朝時間になると子どもたちに声かけをしてくれる。 ○自治会長との信頼関係があまり良くない。
きずな Part2	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の行事に子供会を中心に両親を活かして行事の発展につなげている。 ○自主防災会。班長さんが中心に情報収集。 ○女性の集まり 20~80代(食事会、忘年会)
きずな Part3	<ul style="list-style-type: none"> ○世代間交流が乏しくなり太鼓などもたたき手がいない。 ○公園が少ないので人と行き合わない。 ○少子(公園少ない)。高齢化(横の繋がり少ない)。
おすそわけ	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜などの頂き物が多くありがたい。 ○昔ながらの付き合いで大変よい(野菜など分けてくれる)
交流	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の役員になる人がいない(65才まで就労) ○自治会に入る人が少なくなっている。 ○自治会に入っているメリットがない。 ○自治会に未加入者があり、状況把握が不十分である。 ○新しい住宅ばかりで横のつながりが無い。 ○中学校小学校がそれぞれ一箇所なので、話がまとめやすい。 ○自治会長が若くなり積極的な地域改善策の提案・及び自治会報発行で自治が見える様になってきた。 ○新入居世帯で自治会に参加してくれる人が少し出てきた。
足	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通機関が少ない。(くるりんが使い辛い)
伝統芸能	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の行事には、子どもがより多く参加できるように大人が支えてあげたい。(子どもの気持ちになって) ○地域(区)のイベントを盛り上げようと考えている人が出てきた。例:秋祭り、花見会の開催 ○一部地域ではあるが、昔ながらの伝統を継承している。小前田のお祭り。(黒田ささら)
項目なし	<ul style="list-style-type: none"> ○昼間、公用車で1時間くらい巡視している。 ○全体(深谷市)の話が聞こえ難い。花園は避地なのかな? ○子どもはとても良い意見を持っています。